

総合病院精神科に関する基礎調査 2020 へのご協力をお願い

総合病院精神科には、自殺企図をはじめとする救命救急医療、高齢者医療、緩和医療、身体合併症治療、臨床研修制度など多岐に渡る分野での貢献が期待されている一方で、全国的にみても医師確保が困難であり、さらに十分な医療経済的な評価がなされないため、厳しい運営を強いられています。今後総合病院精神科が精神科医療の地域における中核としてその機能を十分に発揮するためには、医療政策上その必要性が評価され、診療報酬への反映が必要であると思われます。そのためには現在の状況を調査によって正確に把握することが必要であり、当学会では 2002 年より基礎調査を 2 年ごとに実施しております。今回調査（総合病院精神科基礎調査 2020）は令和元年度のデータについての調査のため Covid-19 の影響が予測されますが、その影響も含めて現状を把握するため例年同様の調査を実施いたします。また調査方法も Web 調査とし、回答の負担を減らすようにいたしました。

調査・集計についてはデータ調査会社「Psilocybe」に委託し、一般病院併設精神科を開設している全国約 800 病院に調査への協力をお願いしました。回答内容は、個別の施設が同定できないような形で集計し、学会や学会誌等で集計や解析の結果報告を発信させていただく予定です。なお、本調査は学会活動に関する目的以外で使用されることはありません。

できるだけ多くの施設のご協力をいただけますようお願い申し上げます。

—記—

調査項目：令和 2 年 6 月 30 日現在の状況および令和元年度の診療実績

締め切り：令和 3 年 1 月 15 日（金）

調査サイト：<https://jsghp-s.com>

何かご不明な点、ご質問等がございましたら、調査サイトの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。